

大安寺地区の誇り

～泰澄大師の昔より えにしゆかしき～大安寺



地区の宝でもある大安禅寺を会場に、毎年6月の花菖蒲祭りの期間中に平成23年からエコキャンドルと竹灯籠祭りを開催している。児童生徒・地区のお年寄りによるイラストの灯籠が見どころである。



花菖蒲に灯籠の明かりが映え幻想的な雰囲気の中、演奏会が開かれ、たくさんの方が楽しめる地区のイベントになっている。現在は、火を取り扱うことへの危険性を考慮してLEDキャンドルを使った竹灯籠祭りをやっている。



当地区の南西にある大安禅寺の山門の脇に独鈷水公園がある。この公園は、元々地元住民を土砂災害から守るための堰堤で、平成5～7年度に渡り県の「田ノ谷川せせらぎ溪流保全整備事業」により改修されたが一時期地区の人々からも忘れられていた。その独鈷水公園を地区の住みよい町づくり委員会が平成15年から、遊歩道にはさつきやあじさいを植え周辺には桜の植樹も行い再び整備した。今では四季折々に美しい風景を見る事ができ、地区の新たな名所となりつつある。



大安寺公民館 館長
奥出 邦夫さん

平成21年から現職。当地区の名称「大安寺」の元となった臨済宗妙心寺派の名刹大安禅寺は、福井藩主松平光通公が先祖のご恩を忘れず感謝するため建立した。また、福井藩主の墓所としては名実共に日本一の千畳敷がある。

大安寺公民館

住 所／福井市四十谷町5-20-1
電 話／0776-59-1001
交通機関／京福バス「四十谷」バス
停から徒歩2分